

2021.1.10

ニリンソウ自生地保護 活動情報

akatsukanironso@gmail.com
発行：都立赤塚公園サービス
センター ボランティア係
03-3938-5715
編集責任：運営サポーター：
木村松夫 090-8646-9757



<2021 年 2 月～3 月の活動予定>

- ・ 2021/2/14(日) ニリンソウ自生地
ヤエムグラの抜き取り作業
(10:00 大門観察台集合)
- ・ 2021/2/21(日) 2/14 雨天または作業未了の予備日)
- ・ 3 月中旬～4 月中旬の「ニリンソウ月間」新型
コロナウイルス感染拡大予防のために例年とは
異なる形での実施を検討中

2021 年、今年も元気に保護活動スタート ただし、コロナ対策は十全に



林の手入れ活動は春の野草が芽吹く前に行わなければなりません。

1/10 は今年の活動初めでしたが、新型コロナウイルスの蔓延第 2 波が押し寄せ、前々日には 1 都 3 県に緊急事態宣言が発出されたばかり。作業は東京都公園協会の方針に従って必要最低限とし、かつ、サ

ービスセンターの維持管理業務とボランティアの自主活動が混合しないように区分して行いました。



↑ ボランティアは手作業で下草刈り
←センターは斜傾した樹木の整理と機械刈り

野草の宝庫「八丁目の林」の不思議 手入れも慎重に



都立赤塚公園は7つの地区に分けられていますが、その中には「八丁目の林」という地区はありません。公園管理ではここは城址地区の一部になっています。しかし、赤塚五丁目の城址地区とは区別されるエリアであり、赤塚八丁目に位置することから、活動者の間では「八丁目の林」と呼ばれてきました。



こんなに狭いエリアなのに……

上のマップのようにとても狭いエリアですが、春が過ぎるとシャガの群落の中からオカトラノオ（上右、背景の白はドクダミ）が一斉に咲きだし、梅雨が明けるとウバユリが林のように立ち上がって花を突き出し、ヤマユリ（上中）は大きな立派な花をつけ、秋にはヤマホトトギス（上左）が咲き乱れ、その他たくさんの珍しい植物が続出する実に不思議な場所です。だから、いつもは不必要に立ち入らないことにしているのですが、だからこそ、手入れも必要というわけです。

残すべき植物には目印を付けて作業を行いました



残すべき植物（以下の11種）には事前に赤いリボンでマーキングして、はびこっているアズマネザサとクサギを刈り取り、枯れてフェンスに絡まっているつる植物を取り除きました。

①シャガ、②ナフシロイチゴ、③ツルウメモドキ、④ナフシロイチゴ、⑤ヒガンバナ、⑥ヤイイタチシダ、⑦ベニシダ、⑧オクマワラビ、⑨ナガバジャノヒゲ、⑩マンリョウ（左の写真）、⑪ヤブコウジ

ニリンソウの林を未来に残すための保護活動
みなさまのご理解・ご協力、そしてご参加を歓迎します

新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりとって
元気でニリンソウの春を迎えましょう！